

2018年7月26日

SOMPOホールディングス株式会社

「CSRコミュニケーションレポート2018」の開示

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、「CSRコミュニケーションレポート2018」を開示しました。

1. 「CSRコミュニケーションレポート」について

SOMPOホールディングスの公式ウェブサイト「CSR」ページのトップ画面からご覧いただけます。以下のリンク先からご覧ください。<https://www.sompo-hd.com/csr/communications/>



【イメージ】公式ウェブサイト 「CSR」 トップ画面

2. 公開日

2018年7月26日（木）

※英語版は9月上旬に公開予定です。

3. 「CSRコミュニケーションレポート2018」の概要

「CSRコミュニケーションレポート」は、SOMPOホールディングスグループのサステナビリティ経営に基づく価値創造ストーリーや、方針、計画や活動進捗を報告し、取組みを継続的に向上させるためのコミュニケーション・ツールです。

(1) 「CSRコミュニケーションレポート2018」の特徴

① CSRを通じた企業価値向上に向けた取組み

トップコミットメントでは、グループCEOの櫻田謙悟が「安心・安全・健康のテーマパーク」

の実現を通じたサステナブルな社会の実現への貢献とグループの価値創造ストーリーについて述べています。

②「持続可能な開発目標（SDGs）」への取組み

グループCBO（Group Chief Brand Officer）の青木潔、損保ジャパン日本興亜取締役会長の二宮雅也および市民セクターの代表であるI I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者兼ソシオ・マネジメント編集発行人の川北秀人氏による「SDGs時代のSOMPOホールディングスの価値創造ストーリー」をテーマとした対談を掲載しています。

③グループの特徴を活かした3つの「特集」

SOMPOホールディングスならではの介護・ヘルスケア事業、ESG投資を通じた持続可能な社会・成長の実現を目指すアセットマネジメント事業について特集を設け、I I H O Eの川北氏との対談を掲載しています。また、深刻化する「気候変動」問題に関するグループの取組みも特集しています。

④ステークホルダー・エンゲージメントを通じた取組み

SOMPOホールディングスは、多様なステークホルダーとのコミュニケーションが、信頼関係と協働関係を構築し、より大きな成果を生み出すための重要な取組みであると考えています。CSRコミュニケーションレポートでは、2016年4月に公表した、グループCSR重点課題の見直しのプロセスで、ステークホルダーの皆さまからいただいたご意見に対する進捗や課題を報告し、また、有識者との対談などを報告しています。

⑤情報開示の信頼性向上に向けた取組み

SOMPOホールディングスは情報開示に際しさまざまな国際的ガイドラインを参考としており、CSRコミュニケーションレポートは、GRI (Global Reporting Guideline)スタンダードの中核(Core)オプションに準拠して作成されています。

また、CSRに関する報告書の第三者意見の取組みが一般的ではなかった2001年度から、I I H O Eの川北氏から「第三者意見」をいただき、継続的な取組みの向上につなげています。第三者意見を執筆いただくにあたっては、主要部門へのヒアリングも実施し、SOMPOホールディングスのCSRの取組みを包括的かつ詳細に把握いただいています。また、2012年度からは温室効果ガス（GHG）の排出量について第三者機関による保証を受け、年々その対象となるグループ会社の範囲を拡大するとともに、2016年度からは欠勤による総損失日数についても保証を受け、透明性の高い情報開示に努めています。

以上